



クッククク…お嬢さんの
言いたいことはわかりますよ

何故、自分がこんな所で
こんな格好をさせられて
いるか…でしょう？

うううう…
うぐ…

あなたはこれまでに
何人もの男達に
貢がせていたでしょう？

そのせいで
カード地獄に陥った
男が数多くいるのですよ

それでこの
あなたの身体で
払ってもらうことに
したのです

ギッ

さて…これからこの女を
くすぐり奴隷にするための
「くすぐり調教」に入る

うぐ…うぐぐ…!?

お前の家
にお前そっくりの遺体を
準備しておいた…
これがどういう
意味かわかるか？

お前の帰る場所は
もう無いということだ

シヤッ…

………!!

まずはその体を
綺麗にしてやろう

うぐぐー！

お前とお前は
腋の下の埃を
取ってやれ

そこは特に念入りに
掃除しろよ

お前たちは
足裏を
掃いてやれ

そうか
じゃあ徹底的に
掃いてやれ

こちらも
まだまだです

まだです

どうだ
埃は取れたか？

うぐぐぐぐぐ
くくくくくく
うううううう！

サッ

サッ

ぷるるん

こしょ

こしょ

こしょ

こしょ

こしょ

こしょ

こしょ

こしょ

ふ

羽だけでは
取れないか…
今度はこれを
使ってみるか

うぐー！！

ふざけるんじや
ないわよ！

あとで覚えて
なさいよ！

さあ、徹底的に
掃いてやれ

どうだ？
そろそろ奴隷になる
覚悟はできたか？

うくうふっふっ
ふううー！！

だめ…っ
キツすぎる…！！
今はいったん
承諾して…

うぐー！うぐー！！

そうか、まだ
ならないか…
仕方ないな

…!?
うぐー！うぐー！！



なかなか埃が
とれないな…
よし、今度は
耳かきを使おう

うぐぐー!!

ここが弱点かな?

うー!!
うううぐー!!

いいぞ、そこを
徹底的に
コリコリしてやれ

だいぶ
効いてる
ようだな

くふうううー!!

見つかりました

お前たちも一番弱い
ところを見つけたら
そこを徹底的に
責めぬいてやれ

こっちも
見つかりました

さあ、お前の弱手が
わかったぞ
今からたっぷりと
ここを責めて
やるからな



もう…
もういや……

奴隷でも…
奴隷でも何でもなるから…

もうくすぐらないで…

覚悟ができたか
では今から本格的に
くすぐり奴隷になるための
準備を始めよう

奴隷の一番の罪は
主人に対して
反抗することだ

反抗した時の罰を
今から嫌というほど
教え込んでやる



きーーやっはは
はははは!!
くすぐりたいいいー!!

いやあああつはつはつ
はつはつはつはつはつはつ
はつはあああー!!

もういやあああつはつ
はつはつはああー!!
お願い…お願いいいー!!

おいおい、さっきまでの
元気はどうしたんだ?

まだまだ誠意が
足りないな

助けてええー!!
くつく…苦しいい
いいー!!
ひゅひゅ!!



どうだ？
この罰の辛さが
分かったか？

だが、この罰はまだ
終わらないんだ

男達は、麻美が失神する
寸前までくすぐり続け
麻美が失神しそうになると
その手を止めた

そして少し休んだ後、
再びくすぐり始める
のである

男たちはそれを
何度も繰り返した

きやああつはっ
はっはっはー！！
いやあああつ
はっはっはっ
はー！！

一ちょ
一ちょ
一ちょ
一ちょ

一ちょ
一ちょ
一ちょ
一ちょ



これがくすぐり奴隷の罰だ
失神寸前までくすぐって
少し休ませたあと
また失神寸前までくすぐるんだ

まあ、今回はこの罰の
さわりだけで許してやる

本当の「罰」は、
こんなものじゃすまないぞ

わ、わかりました…
もう…もう絶対に
反抗しませんから…

いい子だな
これからは気持ちいい事
してやるからな…

わかった…もう…
わかったわよ…

少しの休憩の後：
麻美の最も敏感な
3つの突起に
ピンクローターが
取り付けられた

くううううー！！
うううううううー！！

いいいいいー！！
もつと…
もつとおおおー！！

もつとくすぐつてえええ！
もつとコチヨコチヨ
してええええー！！

しかし限界を超えたのか
麻美の中で何かが
壊れたようだ…

おいおい…
奴隷がそんな我が儘を
言っていると思ってい
るのか？

そんな奴隷に
エクスタシーを
味合わせてやる訳には
いかないな

俺達の気が済むまで、
たっぷりと焦らしに
焦らし抜いてやる



いい格好だな、ん？

おいおい見てみろよ
この女のアレ、
ピクピク痙攣してるぜ

四つん這いにされた
麻美の秘部やアナルを
男達は笑いながら
コチヨコチヨと
くすぐり始めた

くっ...

こちょ

ヒンッ

ヒン♡

ヒン

ひ...あああ...
いや...いや...

こちょ
こちょ

麻美は、今度は2つの最も感じる穴に

ピンクローターを挿入され、

引き続き敏感な「小さな豆」にも

ピンクローターを押しつけられたまま

スキャンティの圧力で

固定されてしまった

クッククック...
気持ちいいのか？

それならもっと
気持ちよく
してやろうな

ブルブル

ブル



さあ、今からたっぷりと
全員のを
しゃぶってもらおうぞ

まるで犬だな
え？

（ここ、ここ）

（ここ）

音を立てて男根を
しゃぶっている
麻美を見て、如月は
楽しそうに笑い
ピンクローターの
スイッチの「弱」を
入れた

うう...うううううう
うううううううううう

（ここ）

（ここ）

それにあわせて、男たちは
四つん這いになっている麻美の
両側に陣取り、下向きになっている
丰满な乳房を揉んだり背中や下腹、
それに脇腹をペロペロと
舐め回したり、指でコチヨコチヨと
くすぐったりし始めた

ぐぐうううううううううー!!
うぐぐうううううううううー!!
ぐううううー!!



今日の調教は終わりだ
では、調教の「最後の
挨拶」をして貰おうか

はい…

ご主人様…ご調教いただき…
ありがとうございます…

この次も…私の身体を…
お好きなように…
くすぐり…弄んで下さい…
私は…私はどうなっても
構いません…

これからも…
いつまでも…
精一杯尽くしますので…

どうか…どうか…
一生…可愛がって下さい…
宜しくお願い致します…

次の日――
麻美は如月の言う
「本部」へと移送された

そこで麻美は、来る日も来る日も
見知らぬ男達に、その
すばらしい身体を弄ばれ続けた
のである



やがて、如月を含めた7人
全員の男達が放出した…

いいか、これが
くすぐり奴隷の
「隷属のポーズ」だ

このポーズは
主人の許しがあるまで
絶対に崩してはならない

もし動いたら、息が
止まるまでくすぐって
焦らし続けるからな

そ…そんな…
は、はい…絶対…
絶対動きません…

一、わ、私は…ご主人様の
くすぐり奴隷に…
なることを…誓います…

一、私は…何事であろうとも…
ご主人様に絶対…服従を誓います…

一、私がご主人様に…
反抗した場合は…

麻美はポーズを保ったまま
「くすぐり奴隷誓約書」を
読ませられた

その間、如月は
麻美が読むのを
くすぐって妨害した

その度に麻美は
身体をピクピク震わせて
読むのを中断して
しまったためまた最初から
読み直さなければ
ならなかった

ふる

いっ

ふる

いっ

かA

かA

努力と苦勞の甲斐があつて
ついに麻美は、如月の悪戯に
身体を震わせて耐えながら
なんとか最後まで読み切った

よし、よく頑張ったな

さあ、今から死ぬほど
イカせてやろう

よく頑張ったな
さあ、今から死ぬほど
イカせてやろう

ひ……
ひひひひひひひ
いーいー!!

ほーら、ポーズを
崩したらイカせて
やらないぞ

くううううー!!
きや…きやつはっ
はっはっはっー!!

このままだと
どうしても両手を
降ろしてしまいそうだな

仕方ない、身動き
できないように
ロープで縛ってやろう

このままだと
こうしても両手を
離ろしてしまいうだな
仕方ない、身動き
できないように
ロープで縛ってやろう









如月はどこからか
ロープを持ってくると
麻美が両手を
降ろせないように
器用に縛り上げてしまった

これで良し
今度こそ
本当に死ぬほど
イカせてやるからな

たふい♡





いいか
これからお前は
こうやって
くすぐられないと
イケないんだ

死ぬほど
くすぐり抜かれないと
イク事は出来ないんだぞ。
分かったな

はいいい…
わかりましたああー!!
わかりましたああー!!

良く分かった
ようだな。
…よし
イッていいぞ!

い…いき
ますう!
イクううう!!

麻美はそう絶叫すると、
身動きできない身体を
ビクンビクンと激しく
痙攣させ、背中を大きく
のけぞらせて、巨大な
エクスタシーに達した

焦らしに焦らし抜かれた
後のエクスタシーに
麻美の頭の中は真っ白に
なり、花火にも似た
閃光が、何度も瞬いていた

あんなものでは
足りないだろう
今度は6人がかりで
イカせて貰え

イウウウウ
ううー!!
イッちゃうう
ううー!!

再び麻美はたちまち
エクスタシーに達したが
6人の男達のくすぐりも
ピンクローターも
止まらなかった

麻美は、口元から淫らに
涎を垂れ流しながら
絶叫すると、あまりの
快感のために気を失った

想像を絶する快感の
ために、麻美は何度か
気を失ったが、6人の
男のくすぐりと、
ピンクローターの振動で
覚醒させられ、それから
また、何度も何度も
イカされ続けたのである

きやああああ
あつはつはつは!!
いいやああああ
あああああー!!

いや...ああああ
ああはつはつはつ
はー!!

苦しい...

くるしいー!!







